

翻訳業界のリーディングカンパニーが業界基準を築く

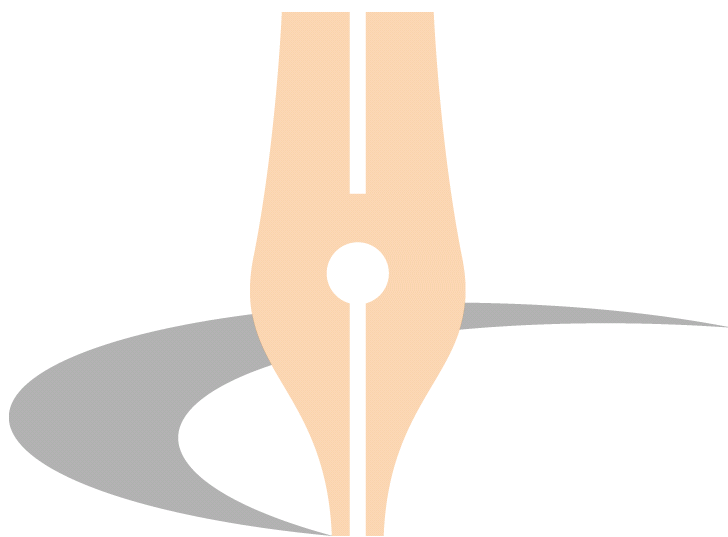
株式会社 翻訳センター 平成22年3月期第2四半期 決算説明会

<http://www.honyakuctr.com>

平成21年11月27日

大証ヘラクレス:2483

I . 平成21年3月期 第2四半期(累計)実績



1. 概 要
2. 分野別動向
3. 登録翻訳者動向
4. 損益計算書
5. 貸借対照表
 - ・キャッシュフロー計算書

1. 概要

単位：百万円、%、円

	H20/9 2Q累計	H21/9 2Q累計	増減	伸率	期初予想
売上高	2,226	2,039	△187	△8.4	2,150
営業利益	149	53	△96	△64.3	45
経常利益	149	54	△95	△63.3	45
四半期純利益	76	28	△47	△62.7	20
一株当たり純利益	5,829	2,170	—	—	

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

※US1ドル=95円98銭で換算しております。

- 特許分野が苦戦し減収
- 連結子会社の健闘により、利益ベースでは期初予想を達成

2. 分野別動向

① 売上高

単位: 百万円、%

	H20/9 2Q累計		H21/9 2Q累計			
		構成比		増減	伸率	構成比
特許	855	38.4	655	△200	△23.4	32.1
医薬	682	30.6	668	△13	△1.9	32.8
工業	479	21.5	475	△3	△0.7	23.3
金融	179	8.1	177	△2	△1.3	8.7
その他	30	1.3	62	32	106.7	3.1
合計	2,226	100.0	2,039	△187	△8.4	100.0

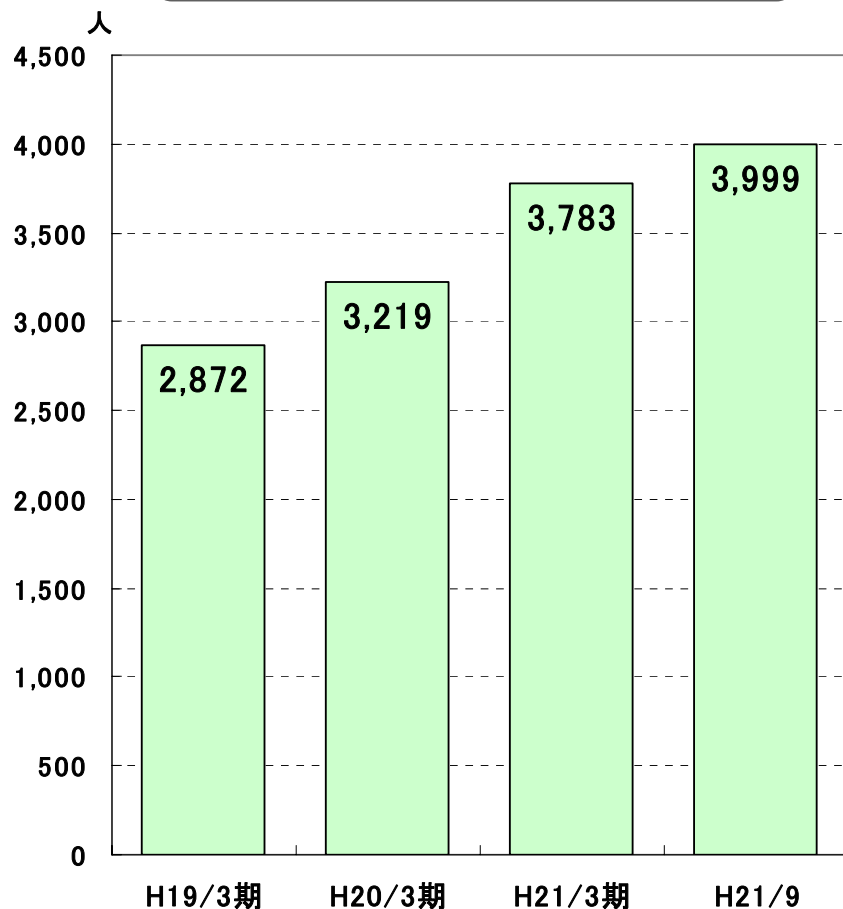
② 受注件数

単位: 件、%

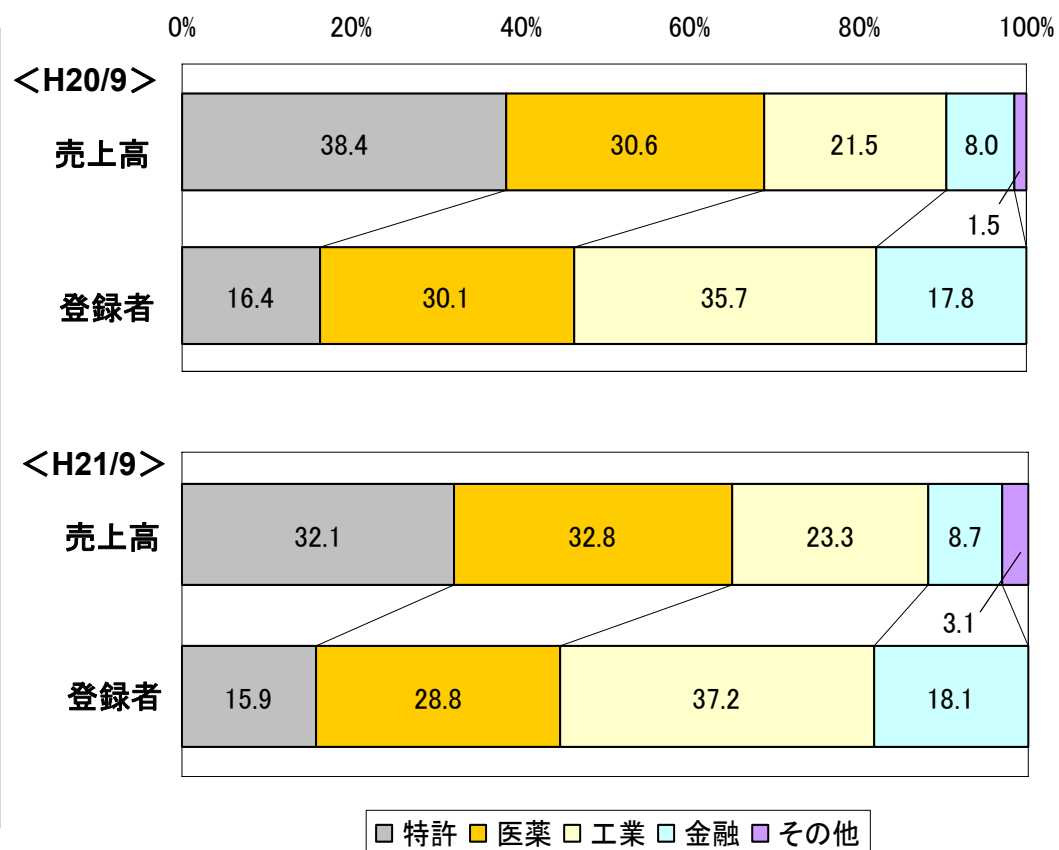
	H20/9 2Q累計		H21/9 2Q累計			
		構成比		増減	伸率	構成比
特許	6,032	30.9	4,966	△1,066	△17.6	24.5
医薬	6,700	34.4	7,434	734	10.9	36.7
工業	4,621	23.7	5,554	933	20.1	27.4
金融	2,095	10.8	1,882	△213	△10.1	9.3
その他	30	0.2	407	377	1256.6	2.0
合計	19,478	100.0	20,243	765	3.9	100.0

3. 登録翻訳者動向

登録翻訳者数の推移



分野別売上高・登録者数割合



4. 損益計算書(1)

単位:百万円、%

	H20/9		H21/9			
	2Q累計	構成比	2Q累計	増減	伸率	構成比
売上高	2,226	100.0	2,039	△187	△8.4	100.0
売上原価	1,173	52.7	1,119	△53	△4.5	54.9
売上総利益	1,053	47.3	919	△134	△12.7	45.1
販売費及び一般管理費	904	40.6	866	△38	△4.2	42.5
営業利益	149	6.7	53	△96	△64.3	2.6
営業外収益	1	0.1	1	0	△13.8	0.1
営業外費用	1	0.1	0	△1	△93.1	0.0
経常利益	149	6.7	54	△95	△63.3	2.7
特別損益	△2	△0.1	0	3	—	0.0
税金等調整前四半期純利益	147	6.6	55	△91	△62.2	2.7
四半期純利益	76	3.4	28	△47	△62.7	1.3

4. 損益計算書(2)

<販売管理費 内訳>

単位: 百万円、%

	H21/3期		H22/3期			
	2Q累計	構成比	2Q累計	増減	伸率	構成比
販売費及び一般管理費	904	100.0	866	△38	△4.2	100.0
人件費*	639	70.7	629	△9	△1.5	72.7
人件費以外	264	29.3	236	△28	△10.7	27.3

*法定福利費等の関連費用を含む

■ あらゆる費目を見直し全体的に経費削減

5. 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

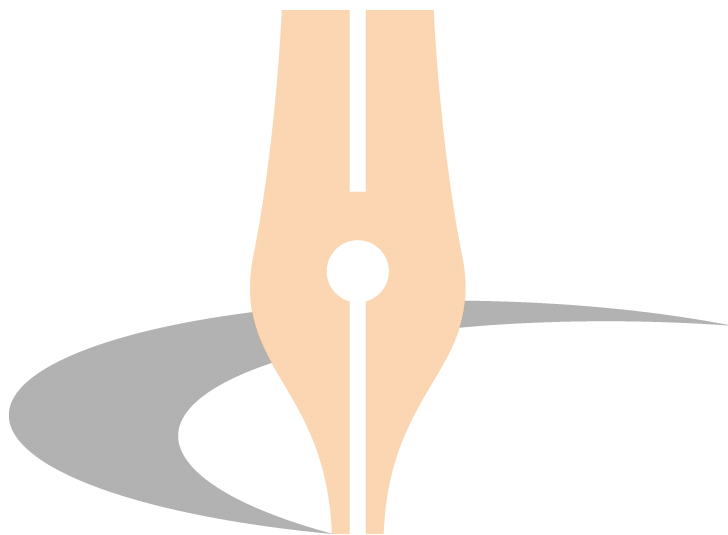
単位：百万円

単位：百万円

	H21/3 期末	H21/9末	増減
(資産の部)			
流動資産	1,818	1,724	△93
固定資産	460	478	17
資産合計	2,279	2,202	△76
(負債の部)			
流動負債	561	501	△59
固定負債	114	121	6
負債合計	675	622	△53
(純資産の部)			
株主資本	1,609	1,585	△23
評価・換算差額等	△5	△5	0
純資産合計	1,603	1,580	△23
負債純資産合計	2,279	2,202	△76

	H20/9	H21/9	増減
税金等調整前 四半期純利益	147	55	△91
営業活動による キャッシュフロー合計	△14	65	79
投資活動による キャッシュフロー合計	△152	△38	114
財務活動による キャッシュフロー合計	△47	△54	△7
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	△213	△28	185
現金及び現金同等物 の期末残高	1,074	975	△98

Ⅱ. 平成22年3月期見通し



1. 概要
2. 分野別売上高(予想)
3. 損益計算書(予想)

1. 概要

単位: 百万円、%、円

	H21/3期	H22/3期 (予)	増減		伸率		3-4Q累計 (予)	増減		伸率	
			増減	伸率	増減	伸率					
売上高	4,501	4,600	99	2.2	2,560	286	12.6				
営業利益	317	220	△97	△30.7	166	△1	△0.6				
経常利益	314	220	△94	△30.0	165	1	0.4				
当期純利益	156	110	△46	△29.5	81	2	1.6				
一株当たり純利益	11,958	8,400	—	—	—	—	—				
一株当たり配当金	4,000	4,000	—	—	—	—	—				

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

※US1ドル=98円で換算しております。

■ H21年5月発表の期初予想を継続

2. 分野別売上高(予想)

単位: 百万円、%

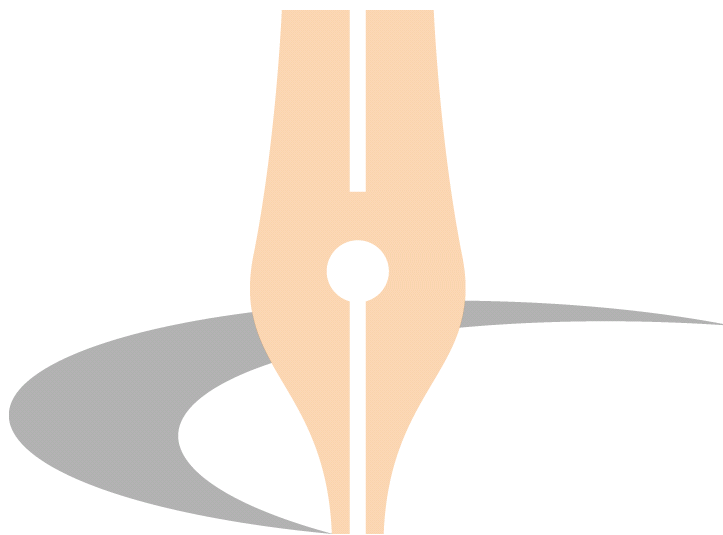
	H21/3期		H22/3期			
		構成比	(予)	増減	伸率	構成比
特許	1,618	35.9	1,620	2	0.1	35.2
医薬	1,399	31.0	1,530	131	9.4	33.3
工業	987	21.9	910	△77	△7.8	19.8
金融	404	8.9	400	△4	△1.0	8.7
その他	91	2.0	140	49	53.8	3.0
合計	4,501	100.0	4,600	99	2.2	100.0

3. 損益計算書(予想)

単位:百万円、%

	H21/3期		H22/3期 (予)			
		構成比	増減	伸率	構成比	
売上高	4,501	100.0	4,600	99	2.2	100.0
売上原価	2,381	52.9	2,450	69	2.9	53.3
売上総利益	2,119	47.0	2,150	31	1.5	46.7
販売費及び一般管理費	1,802	40.0	1,930	128	7.1	42.0
営業利益	317	7.0	220	△97	△30.6	4.8
営業外収益	4	0.0	—	—	—	—
営業外費用	7	0.1	—	—	—	—
経常利益	314	6.9	220	△94	△29.9	4.8
特別損益	△5	0.1	△5	0	0	△0.1
税金等調整前当期純利益	308	6.8	215	△93	△30.2	4.7
当期純利益	156	3.4	110	△46	△29.7	2.4

Ⅲ. 今後の戦略



1. 翻訳業界内での動き
2. 重点施策の進捗状況
3. まとめ
4. 翻訳センターの目指す方向性

1. 翻訳業界内での動き

- ・多くの翻訳エージェントが受注量減少と値下げ要求を経験
- ・過去に経験したことのない厳しい事業環境



- ・生き残るためには強固な財務基盤が必要
- ・厳しい環境下でもシェア拡大を図るための仕組みづくり

2. 重点施策の進捗状況

(1) 人員計画の見直し

(2) 「翻訳プラットフォーム」の構築

(3) 高付加価値サービスと集中購買化の促進

(4) 米国子会社の黒字化

2. 重点施策の進捗状況

(1) 人員計画の見直し

従業員数 推移

単位：人、％

	H21/3期		H22/3期 2Q累計			H22/3期 計画*	
	人数	構成比	人数	構成比	増減	人数	計画比 増減
営業	57	25.2	54	24.1	△3	63	△9
コーディネータ	99	43.8	97	43.3	△2	124	△27
制作・校正	45	19.9	48	21.4	3	49	△1
その他	25	11.1	25	11.2	0	27	△2
合計	226	100.0	224	100.0	△2	263	△39

*平成20年5月時点での計画数値

- H21年3月期に約40名を採用→大幅な増員計画は一旦停止
- 人材有効活用として配置転換を実施

2. 重点施策の進捗状況

(2)「翻訳プラットフォーム」の構築

<期待される効果>



翻訳支援システム「HC TraTool」
(平成21年11月より運用開始)

顧客

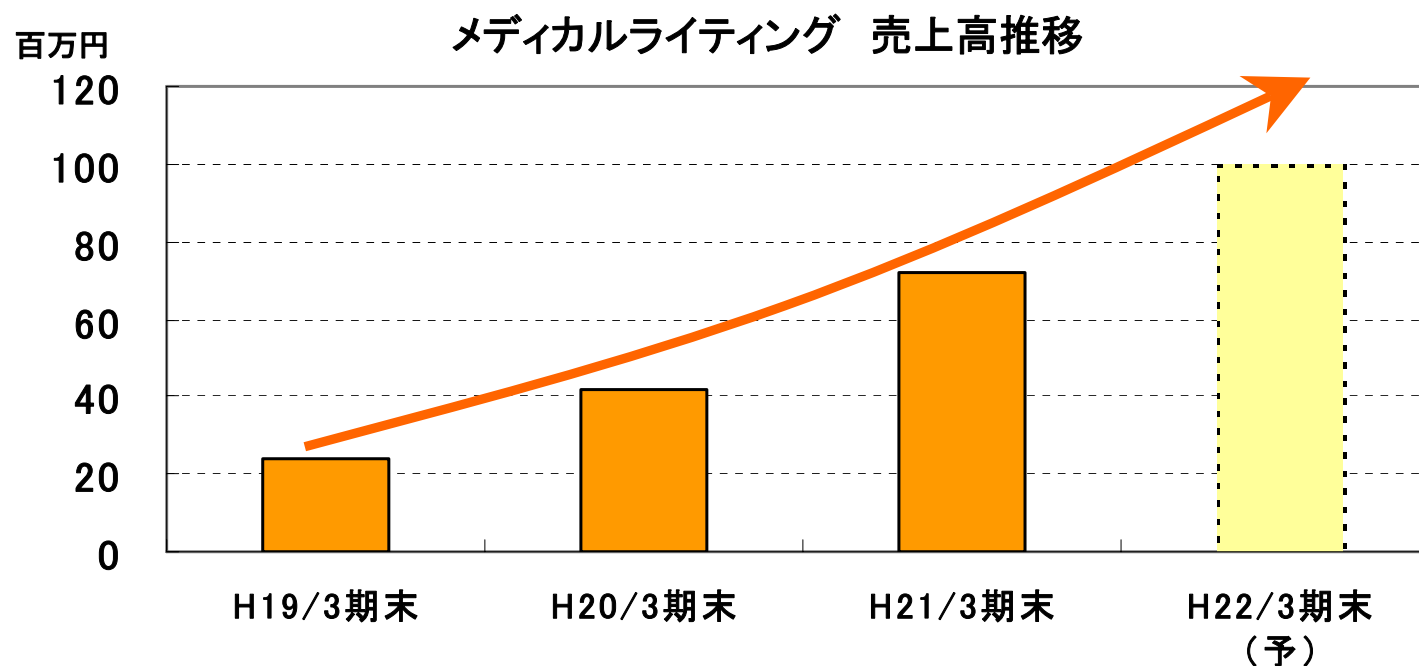
翻訳者

- ・品質基準を満たした翻訳を安定供給
- ・集中購買化によるコストダウン

- ・品質向上と作業効率化
- ・データベースの共有による翻訳者層の拡大

2. 重点施策の進捗状況

(3) 高付加価値サービスと集中購買化提案の促進



- メディカルライティングの売上高は2年間で3倍(平成21年3月期)
- 特許分野では、外国出願支援業務にも着手

2. 重点施策の進捗状況

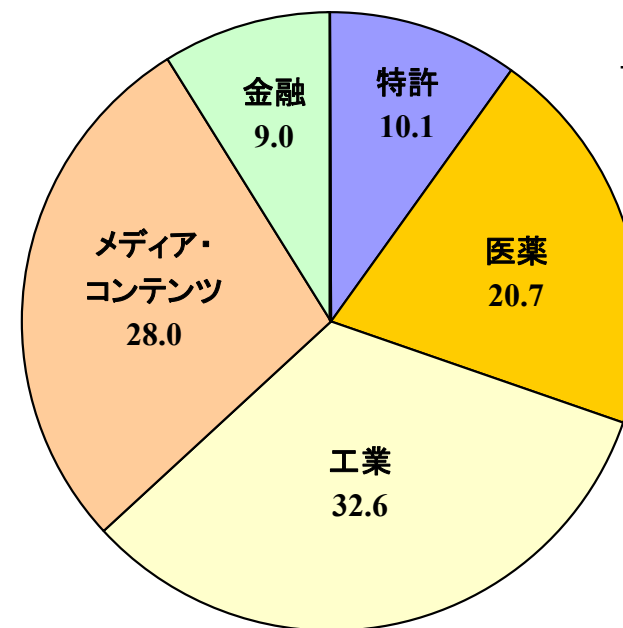
(4) 米国子会社の黒字化

単位:百万円

	H20/12期	H21/12期 (予)
売上高	92	96
営業利益	△9	4
経常利益	△16	3
当期純利益	△21	3

分野別売上高構成比

単位:%



- コンテンツ分野に加え、主力4分野でも取引実績を蓄積
 - 収益基盤再構築
- ➡ H21/12月期は黒字化の見込み

3. まとめ

■ 主要4分野での着実な売上・利益確保

■ 「HC TraTool」の活用による品質向上と業務効率化を実現し、集中購買化の提案を促進

■ 高付加価値サービス強化による競争力の向上

4. 翻訳センターの目指す方向性

